

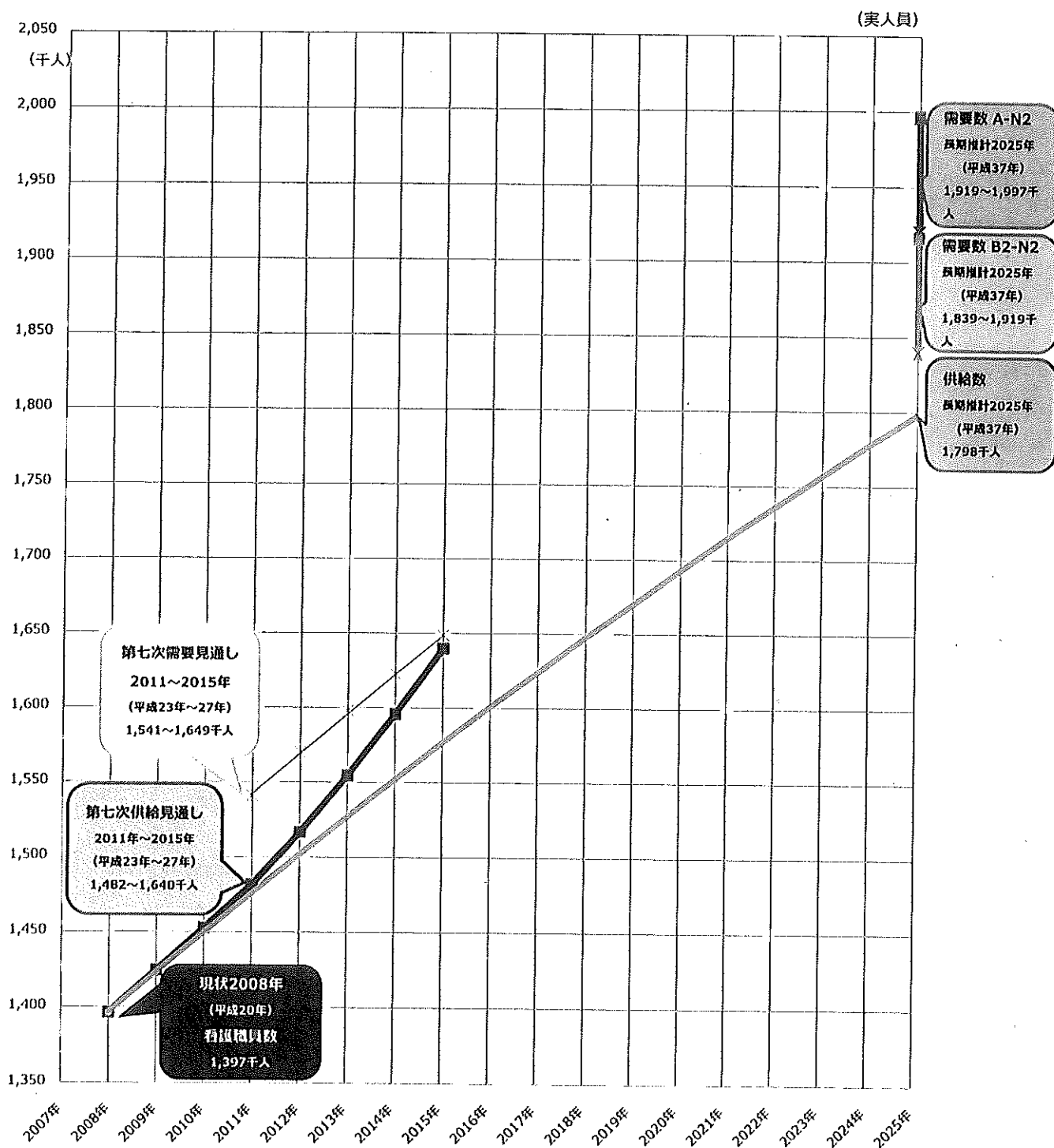
参考 第七次看護職員需給見通し（暫定版）実人員

（単位：人）

区 分	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
需 要 見 通 し	1,541,500	1,570,200	1,598,100	1,624,000	1,649,900
① 病 院	939,100	959,400	978,700	994,400	1,009,500
② 診 療 所	280,800	284,000	287,100	290,000	293,400
③ 助 産 所	2,700	2,800	2,800	2,800	2,900
④ 訪 問 看 護 ステーション	36,300	37,900	39,500	40,900	42,300
⑤ 介 護 保 険 関 係	182,400	184,600	187,500	192,100	196,800
⑥ 社会福祉施設、在宅 サービス（⑤を除く）	22,800	23,700	24,400	25,100	25,800
⑦ 看 護 師 等 学 校 養 成 所	18,900	19,000	19,000	19,100	19,100
⑧ 保 健 所 ・ 市 町 村	42,400	42,600	42,900	43,100	43,300
⑨ 事 業 所 、 研 究 機 関 等	16,000	16,200	16,400	16,600	16,800
供 給 見 通 し	1,482,600	1,517,700	1,555,700	1,596,500	1,640,300
① 年当初就業者数	1,451,000	1,482,600	1,517,700	1,555,700	1,596,500
② 新卒就業者数	51,100	52,200	53,000	54,100	54,600
③ 再就業者数	140,000	143,700	148,000	151,900	156,800
④ 退職等による 減 少 数	159,300	160,900	163,000	165,200	167,600
需要見通しと供給見通しの差	58,900	52,500	42,400	27,400	9,700
（供給見通し／需要見通し）	96.2%	96.7%	97.3%	98.3%	99.4%

注）四捨五入のため、各項目の数値の合計等は一致しない。

# 長期的看護職員需給見通しの推計及び第七次需給見通し(暫定版)について



※需要数A-N2は、一般病床及び療養病床（医療）の看護職員数は、100床あたりの看護職員数を現況（2008年（平成20年））固定とし、2025年（平成37年）の需要の伸びを単純において看護職員必要数を算出。

病院、訪問看護ステーションの年間総労働時間を1865時間から1800時間に改善することを考慮。

※需要数B2-N2は、一般病床を急性期と亜急性期・回復期等に機能分化。急性期の医療資源を集中投入し亜急性期・回復期との連携を強化。在院日数は減少。病院、訪問看護ステーションの看護職員の年間総労働時間を1865時間から1800時間に改善することや、看護職員配置基準の引き上げ等を考慮。

※需要数A-N2、B2-N2は、非常勤（短時間労働者）の割合の見込みにより、5%程度幅のある推計値となっている。

※A-N2、B2-N2の考え方についての詳細は資料1のp.9、p.11を参照。